

中小企業振興会議提言・報告に基づく
R2中小企業振興施策実施状況報告

令和3年7月
都市魅力産業スポーツ部

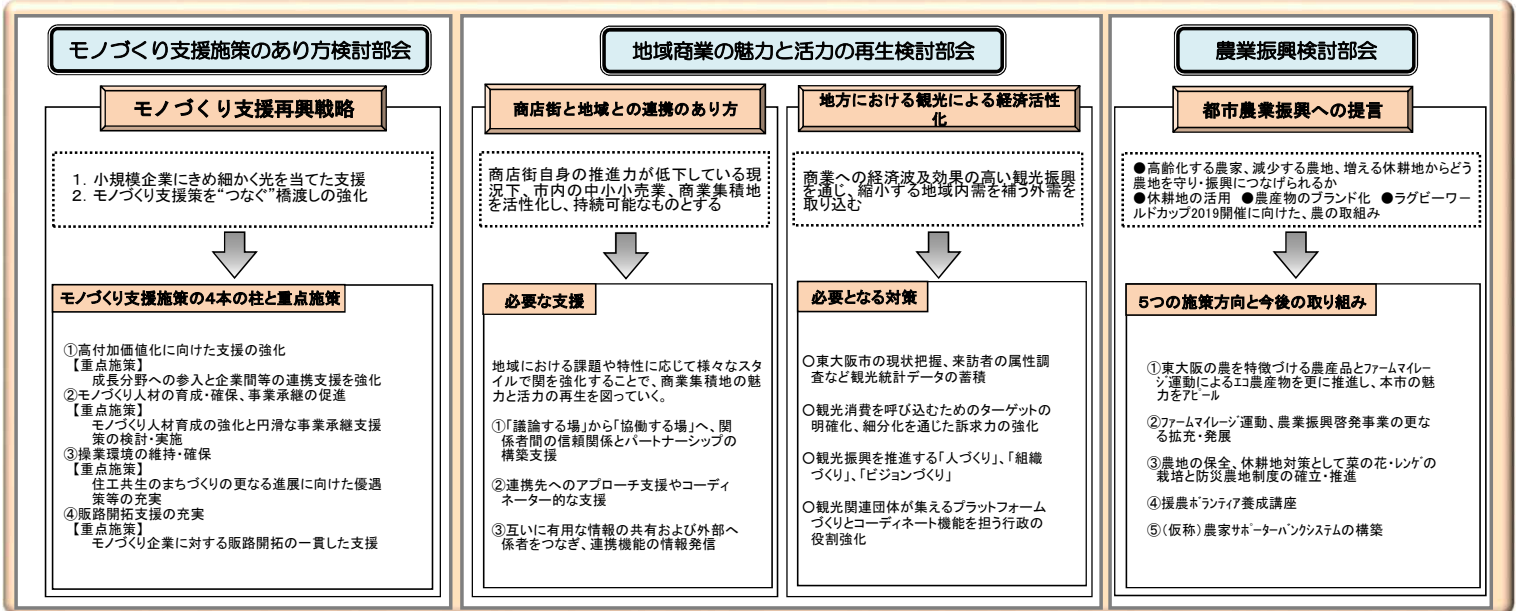
東大阪市中小企業振興条例

中小企業のまち
東大阪市

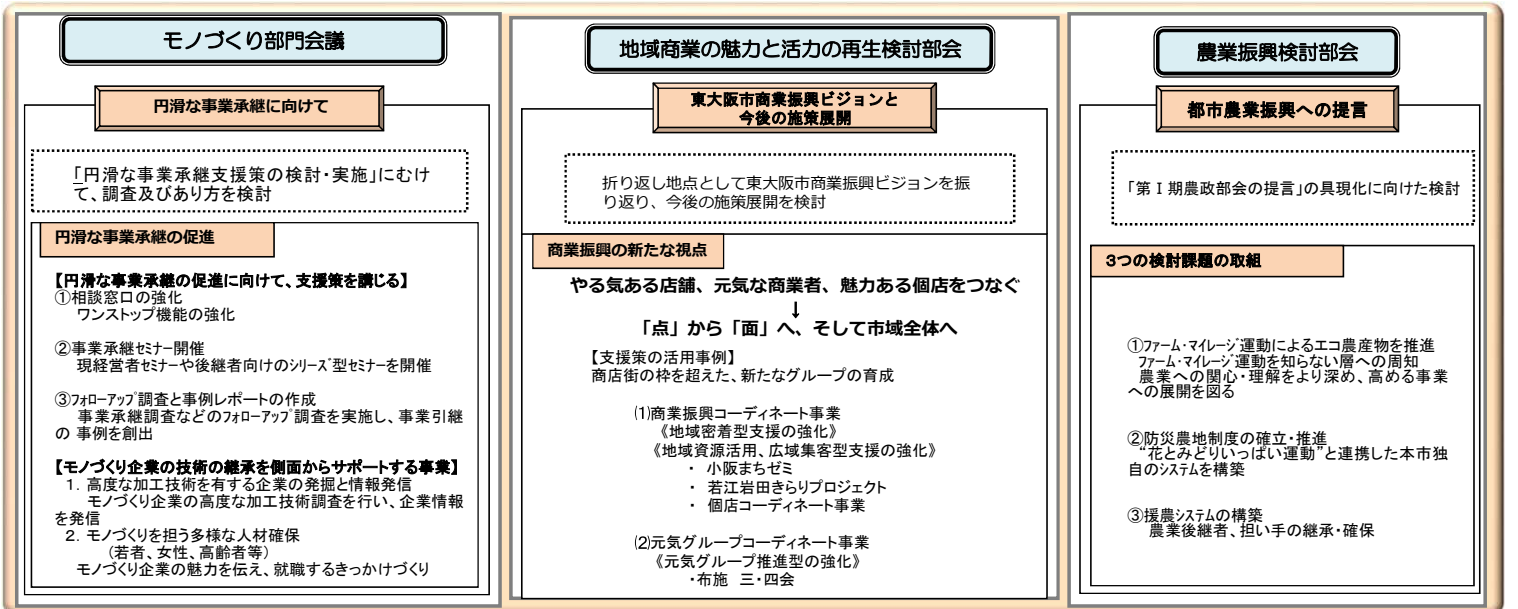
第9条 中小企業の振興に関する施策

- 1 中小企業者の産業集積の活性化及びネットワークを強化させるための施策
- 2 中小企業者の操業環境の確保及び市民の住環境との調和を推進するための施策
- 3 中小企業者の販路拡大のための施策
- 4 中小企業者の経営資源を強化するための施策
- 5 中小企業者の人材の育成・事業承継に関する施策
- 6 中小企業者の資金調達の円滑化を促進させるための施策
- 7 中小企業者の創造的な事業活動の促進のための施策
- 8 中小企業者のグローバル化のための施策
- 9 中小企業者の労働環境を整備するための施策
- 10 中小企業者の魅力等の情報発信を行うための施策
- 11 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める施策

平成27年度東大阪市中小企業振興会議～東大阪市の中小企業振興に関する提言（概要）



平成28年度東大阪市中小企業振興会議～東大阪市の中小企業振興に関する報告（概要）



平成30年度東大阪市中小企業振興会議 ～東大阪市の中小企業振興に関する報告～（概要）

モノづくり振興部門会議	商業振興検討部会	労働雇用部門会議
3つのテーマについて検討	東大阪市商業振興ビジョンと今後の施策展開	市内企業の人材確保と若者・女性の就労支援
今日の課題として3つのテーマを掲げ、速やかな施策展開につなげるべく、あり方を検討	折り返し地点として東大阪市商業振興ビジョンを振り返り、今後の施策展開を検討	就労支援と人材確保の観点から現在の課題や今後の施策展開を検討
議論のテーマ	議論のテーマ	検討課題
<p>①平成30年度新規拡充事業の効果的・効率的な実施に向けて →メリハリをつけた支援策の検討</p> <p>②モノづくり試作工房の活用を踏まえた産業技術支援センターの今後のあり方 →従来型から多様な主体が交流できる場に</p> <p>③支援施策の再構築 →住工共生のまちづくり事業の支援施策の見直しについての報告</p>	<p>①東大阪市商業振興ビジョンを踏まえた振り返りについて ・商業振興コーディネート事業の実例より「若江岩田きりプロジェクト事業の現状と課題」 ・商業振興コーディネート事業、元気グループコーディネート事業等から見る新たな商業振興の可能性</p> <p>②次期商業計画策定スケジュール(案)について ・新総合計画と時期を合わせ、2021年度よりスタート ・商業を取り巻く環境を考慮し、5年等短い期間での作成 ・現在のビジョンを基本とし、プラン的なものを作成</p>	<p>若者・女性をターゲットにした就活応援窓口事業(就活ファクトリー東大阪)の事業検証</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への就職者数100人を達成するために ・学生を含む若者と復職・再就職を目指す女性の登録者の増加 ・利用者満足度の向上 ・(就職状況の)実態把握の強化

令和2年度東大阪市中小企業振興会議 ～東大阪市の中小企業振興に関する提言・報告～（概要）

モノづくり振興部門会議	商業振興検討部会	労働雇用部門会議
2つのコンセプトについて検討	東大阪市商業活性化方針の策定	3つの視点からの就労支援と市内企業の人材確保支援を検討
2つのコンセプトを昨今の企業活動の流れなどをふまえて新たなコンセプトを検討	商業振興ビジョンを振り返った結果をもとに、次の東大阪市の商業の方向性を検討し、方針として定める。	労働雇用施策を持つ2つの側面である、働く意思を持つ人への支援と人材不足に悩む企業への支援を3つの視点から検討した。
議論のテーマ	商業活性化方針	検討課題
<p>①新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼす企業活動への影響を鑑み、新たなコンセプトとして「デジタル化」について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模企業におけるデジタル化の必要性 ・今後の支援施策の方向性 <p>②モノづくり振興部門会議のあり方について</p>	<p>商業振興ビジョンの方向性を継承し、商業集積地の魅力向上と個店の販売力強化を支援</p> <p>3つの方針を軸に市内商業の活性化を推進</p> <p>①商業集積地支援の継続 東大阪市第3次総合計画において、にぎわいのある拠点と位置付けられている商業集積地への支援事業については、内容の変更を検討しながら継続していく。</p> <p>②個店支援の拡充 個店としての販売力が市の経済発展にとっても益々重要であるため、個店支援を拡充していく。</p> <p>③新しい業態との連携 各専門的な知識や技術、革新的なアイデアをもった企業等と自治体、または商店街が連携し、新しい課題解決の方法について検討していく。</p>	<p>【3つの視点】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①多様な人材の積極的な活用 ②学生及び若者へのアプローチ ③企業への支援 <p>↓</p> <p>【労働雇用施策における今後のビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○求職者支援と企業支援 ○働く意思を持つ人への支援 ○人材不足に悩む企業への支援 ○雇用が安定し働きやすいまちを目指して

振興会議の提案にもとづく具体的な施策の構築・推進

「モノづくりが元気なまち」「雇用が安定し働きやすいまち」「買い物しやすい街」「農業と農地空間を大切にすまち」

(中小企業振興条例)

地域経済を活性化し豊かで住みよいまちの実現

(総合計画後期基本計画)

活力ある産業社会を切り拓くまちづくりの実現

(東大阪市第2次総合計画 将来都市像)

「夢と活力あふれる 元気都市・東大阪」

【様式の見方】

所属	所属名を記載
----	--------

No.	通しNo.
-----	-------

事業名	事業名を記載	令和2年度 目標達成度
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載	目標①、②の達成度に対して、目標が1つの場合は、A:8~7点、B:6~5点、C:4~3点、D:2点として目標達成度を記載。目標が2つの場合はA:4点、B:3点、C:2点、D:1点として、8~7点=A、6~5点=B、4~3点=C、2点=Dとして目標達成度を記載

R1 決算	R1決算額を記載	R2 決算	R2決算額を記載
----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	東大阪市中小企業振興会議より提言・報告された施策(4頁)に対応する施策番号を記載
-------------	--

中小企業振興条例 第9条
中小企業振興条例第9条に該当する条項、施策の概要を記載

指標①	事業を客観的に評価するための基準を記載				指標②	同左			
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	各年度の目標を記載			令和2年度目標に対する達成度を記載。(100%未満=B、50~80%未満=C、50%未満=D)	目標②	同左			
実績①	各年度の実績を記載				実績②				
事業実績 (令和2年度)	令和2年度の取り組み内容を記載								
改善すべき点	令和2年度に取り組んだ改善策のうち、主に実施できなかった内容や、事業実績に記載した内容を実施する中での課題・問題点を記載								
令和3年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくのかを記載								

東大阪府中小企業振興会議からの提言・報告を踏まえて令和2年度に実施された施策一覧

平成27年 東大阪府の中小企業の振興に関する提言 (評価A・Bの割合 84%)		
モノづくり支援施策あり方検討部会 (同割合 73.3%)		
【モノづくり支援再興戦略】		
I. モノづくり支援施策の4本の柱と重点施策		
① 高付加価値化に向けた支援の強化	達成度	掲載頁
医工連携プロジェクト創出事業	A	7
東大阪デザインプロジェクト事業	D	8
モノづくり支援補助事業	B	9
② モノづくり人材の育成・確保、事業承継の促進		
次世代モノづくり啓発事業	A	10
ビジネスセミナー開催経費	A	11
モノづくり開発研究会支援事業	B	12
モノづくり若年者等就業支援事業	D	13
市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	A	14
③ 創業環境の維持・確保		
モノづくり立地促進補助事業	A	15
住工共生のまちづくり事業	B	16
④ 販路開拓支援の充実		
東大阪デザインプロジェクト事業	D	8
モノづくり支援補助事業	B	9
技術交流プラザ事業	A	17
東大阪ブランド推進事業	C	18
モノづくりワンストップ推進事業	B	19
地域商業の魅力と活力の再生検討部会 (同割合 100%)		
II. 商店街と地域との連携の在り方		
① 「議論する場」から「協働する場」へ、事業者間の信頼関係とパートナーシップの構築関係	達成度	掲載頁
商業振興コーディネート事業	B	20
地域密着型支援事業	A	21
② 事業者間連携についてのアプローチ支援やコーディネーター的な支援		
商業振興コーディネート事業	B	20
農業振興検討部会 (同割合 100%)		
III. 都市農業振興への提言		
5つの施策方向と今後の取り組み		
① 東大阪の農を特徴づける農産品とファームマイルージ運動によるエコ農産物を更に推進し、本市の魅力アピール	達成度	掲載頁
都市農業活性化農地活用事業	A	24
農業啓発推進事業	A	26
② ファームマイルージ運動、農業振興啓発事業の更なる拡充・発展		
農業啓発推進事業	A	26
③ 農地の保全、休耕地対策として菜の花・レンゲの栽培と防災農地制度の確立・推進		
都市農業活性化農地活用事業	A	24
ファーム花いっぱい咲かそう事業	A	25
④ 援農ボランティア養成講座		
農業啓発推進事業	A	26
⑤ (仮称)農家サポーターバンクシステムの構築		
農業啓発推進事業	A	26

平成28年 東大阪府中小企業振興会議最終報告 (評価A・Bの割合 92.3%)		
モノづくり部門会議 (同割合 100%)		
IV. 円滑な事業承継に向けて		
① 相談窓口の強化:ワンストップ機能の強化	達成度	掲載頁
モノづくりワンストップ推進事業	B	19
② 事業承継セミナー開催:現経営者セミナーや後継者向けのシリーズ型セミナーを開催		
ビジネスセミナー開催経費	A	11
地域商業の魅力と活力の再生検討部会 (同割合 83.3%)		
V. 東大阪府商業振興ビジョンと今後の施策展開		
やる気ある店舗、元気な商業者、魅力ある個店をつなぐ「点」から「面」へ、そして市域全体へ		
① 商店街の枠にとらわれない新たなグループへの支援	達成度	掲載頁
商業振興コーディネート事業	B	20
② 新たな組織を担える人づくりへの支援		
商業振興コーディネート事業	B	20
個店経営者育成セミナー事業	A	22
③ 個店への支援から地域商業全体へ波及する振興策の提供		
空き店舗活用促進事業	D	23
商業振興コーディネート事業	B	20
個店経営者育成セミナー事業	A	22
農業振興検討部会 (同割合 100%)		
VI. 都市農業振興への提言		
3つの検討課題の取組		
① ファーム・マイルージ運動によるエコ農産物を推進	達成度	掲載頁
都市農業活性化農地活用事業	A	24
農業啓発推進事業	A	26
② 防災農地制度の確立・推進		
ファーム花いっぱい咲かそう事業	A	25
農業啓発推進事業	A	26
③ 援農システムの構築		
農業啓発推進事業	A	26

東大阪府中小企業振興会議からの提言・報告を踏まえて令和2年度に実施された施策一覧

平成30年 東大阪府中小企業振興会議最終報告 (評価A・Bの割合 80%)			
モノづくり振興部門会議 (同割合 83.3%)			
VII. 3つのテーマの施策展開とあり方			
① 新規拡充事業の効果的・効率的な実施	達成度	掲載頁	
医工連携プロジェクト創出事業	A	7	
東大阪デザインプロジェクト事業	D	8	
モノづくり支援補助事業	B	9	
技術交流プラザ事業	A	17	
② 産業技術支援センターの今後のあり方			
次世代モノづくり啓発事業	A	10	
ビジネスセミナー開催経費	A	11	
モノづくり開発研究会支援事業	B	12	
③ 支援施策の再構築			
モノづくり立地促進補助事業	A	15	
住工共生のまちづくり事業	B	16	
モノづくり支援補助事業	B	9	
東大阪ブランド推進事業	C	18	
モノづくりワンストップ推進事業	B	19	
商業振興検討部会 (同割合 50%)			
VIII. 東大阪府商業振興ビジョンと今後の施策展開			
① 東大阪府商業振興ビジョンを踏まえた振り返り	達成度	掲載頁	
商業振興コーディネート事業	B	20	
地域密着型支援事業	D	21	
労働雇用部門会議 (同割合 100%)			
IX. 市内企業の人材確保と若者・女性の就労支援			
① 若者・女性を対象にした就活応援窓口事業の検証	達成度	掲載頁	
市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	A	14	

令和2年 東大阪府中小企業振興会議提言・報告 (評価A・Bの割合 73.9%)			
モノづくり振興部門会議 (同割合 84.6%)			
X. 2つのコンセプトについて検討			
① 新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼす企業活動への影響を鑑み、新たなコンセプトとして「デジタル化」について検討	達成度	掲載頁	
ビジネスセミナー開催経費	A	11	
技術交流プラザ事業	A	17	
② モノづくり振興部門会議の今後のあり方について			
医工連携プロジェクト創出事業	A	7	
東大阪デザインプロジェクト事業	D	8	
モノづくり支援補助事業	B	9	
次世代モノづくり啓発事業	A	10	
ビジネスセミナー開催経費	A	11	
モノづくり開発研究会支援事業	B	12	
モノづくり立地促進補助事業	A	15	
住工共生のまちづくり事業	B	16	
技術交流プラザ事業	A	17	
東大阪ブランド推進事業	C	18	
モノづくりワンストップ推進事業	B	19	
商業振興検討部会 (同割合 57.1%)			
XI. 東大阪府商業活性化方針の策定			
① 商業集積地支援の継続	達成度	掲載頁	
商業振興コーディネート事業	B	20	
地域密着型支援事業	D	21	
空き店舗活用促進事業	D	23	
② 個店支援の拡充			
商業振興コーディネート事業	B	20	
個店経営者育成セミナー事業	A	22	
空き店舗活用促進事業	D	23	
③ 新しい業態との連携			
商業振興コーディネート事業	B	20	
労働雇用部門会議 (同割合 66.7%)			
XII. 3つの視点からの就労支援と市内企業の人材確保支援を検討			
① 多様な人材の積極的な活用	達成度	掲載頁	
市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	A	14	
② 学生及び若者へのアプローチ			
市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	A	14	
③ 企業への支援			
モノづくり若年者等就業支援事業	D	13	

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	No.	1
----	---------------------	-----	---

事業名	医工連携プロジェクト創出事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	市内モノづくり企業等で構成される研究会で健康・医療分野への参入へ向けたセミナーなどを開催するとともに、付加価値の高い製品の製造や研究開発を促進するため、事業化をめざす案件に助成金を交付する。	A

R1 決算	7,250千円	R2 決算	31,906千円	提言・報告 施策	I①	VII①	X②
----------	---------	----------	----------	-------------	----	------	----

中小企業振興条例 第9条	
1	産業集積の活性化、ネットワーク強化
7	創造的な事業活動

指標①	健康、医療、介護分野における開発ニーズ 案件の情報提供数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	15件	25件	30件	A	目標②				
実績①	29件	65件	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	<p>(1) 医工連携研究会（市内企業55社） 市内企業の企業規模や意向などを勘案し、「部品・部材の供給」「試作・設計開発支援」「OEM/ODM」を重点領域に設定。モノづくり企業に不足している「法規制のノウハウ」や「医療機器市場のニーズ把握」「販売ネットワーク」を保有している医療機器製販企業との取引関係構築を目指す「製販ドリブン型」の医工連携を実践。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療機器ビジネス参入のための人材育成プログラム (地独) 大阪産業技術研究所と連携し、医療従事者、医療機器メーカー、専門コーディネーターなど、医療機器産業・医工連携の最前線で活躍されているキーパーソンを講師にお招きし、医療機器ビジネスの最新動向から、参入のカタチ、法規制、知財、保険収載、医療費の仕組み、参入事例、情報発信のノウハウまで、新規参入にあたり必要な基礎から応用までの知識を体系的に学ぶことが出来るプログラムを実施。 ●オンライン本郷展示商談会 日本全国の医療機器企業と名刺交換や、参加企業のPRスライドを閲覧できる機能を実装した特設ウェブサイトを開発し、市内企業の露出を図った。ターゲットである医療機器企業の担当者4440名(2,338社)に対しては、展示商談会開催期間内に複数回メールにて案内を配信。また、参加企業には事前に自社のPR資料のブラッシュアップ及び、医療機器企業へのアプローチ法を学ぶ機会を提供し、商談の成功確率の底上げを図った。 期間：令和3年3月1日～19日 参加企業24社（市内企業23社、市外企業1社）商談件数73社 ●医療機器・ヘルスケア・介護機器マッチング商談会／感染症対策フェア2020へ出席 開催日：9月17日 会 場：大阪産業創造館 ●メディカルクリエイションふくしまonlineへ出席 開催日：10月16日・17日 ●コロナ対策ニーズソンの開催（NPO法人まもるをまもると共催） 開催日時：4月18日・19日 オンライン開催 医療者・モノづくり企業など200名が参加 ●全国の臨床工学技士から「医療現場の感染対策ニーズ」を収集（日本臨床工学技士会と協力実施） 応募件数：45件 医療者、弁理士、医療機器企業など専門家による検討会議を開催し、確度の高い案件を企業とマッチング ●「市内モノづくり企業による感染対策に役立つ商品集」の作成 市内企業が商品化した感染対策商品の情報を集約し、冊子を作成。掲載商品については随時更新し、ホームページにて公開。現在、41社57製品を掲載。 <p>(2) 医工連携創出プロジェクト事業助成金（新型コロナウイルス感染症対策） 医療・健康・介護分野の研究や製品開発案件に対し、助成金を交付。助成事業件数：11件</p> <p>(3) 大阪大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院との連携推進協定 大阪大学が設置した「産学連携・クロスインベンションイニシアティブ」へ自治体として唯一参画。医療現場における課題の情報収集や市内企業の医療分野への参入の一助となるネットワークの構築を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大阪大学 命を守るフルフェイスシールド「HANDA Iシールド」量産プロジェクトへ参画 2ヶ月で20万個のフレームと60万枚のシールド材を全国の感染症指定病院など300以上の医療機関へ無償配布。甲子化学工業株式会社 株式会社モールドサポート 藤塚精密工業株式会社が参画。 <p>(4) 大阪大学大学院歯学系研究科及び歯学部附属病院との連携協定 臨床ニーズに基づいた歯科領域における機器開発など「歯科モノづくりプロジェクト」を進める。</p>
-----------------	--

改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器市場は、厳しい法規制や独特な商習慣が存在し、特に新規参入を目指す企業にとっては、非常に参入障壁が高い市場であることから、具体的なビジネスにつながるまでには長期間を要する。 ・医療機器の都道府県別の製品出荷額からも、圧倒的な東高西低（関東圏に集中している）の状況であり、首都圏を中心とし、関東圏の医療機器企業（医療機器の販路を既に持っている企業）とのネットワークの構築・強化を図っていく必要がある。
--------	--

令和3年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・この間の事業を通じて構築した支援機関や人的ネットワークを最大限に活用し、医療機器ビジネスへの新規参入にあたり必要なサポートを引き続き提供していく。 ・具体的なビジネスにつなげていくためには、医療機器企業との継続的な関係構築が求められることから、引き続き関東圏で開催される大規模展示会への出展や企業ツアーを計画すると同時に、昨今の社会状況を鑑み、オンラインツールを活用した商談会や従来の手法にこだわらない積極的な情報発信など新たな手法を検討する。
--------------	--

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	2
-----	---

事業名	東大阪デザインプロジェクト事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	世界的工業デザイナーやクリエイター等との交流を促進することにより、デザインの重要性をPRするとともに、デザインという資源を活かした付加価値の高い製品づくりを促進する。	D

R1 決算	2,249千円	R2 決算	2,340千円
----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	I ①	I ④	VII ①	X ②
-------------	-----	-----	-------	-----

中小企業振興条例 第9条	
3	販路拡大
7	創造的な事業活動
8	グローバル化

指標①	本プロジェクトを通じたデザイナーとのプロジェクト組成数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	4件	4件	4件	D	目標②				
実績①	1製品	0製品	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	①オンライン展示会「LIVING & DESIGN2019」へ出展し、本プロジェクトの取り組みや市内企業の製品を発信した。(ページビュー数:74,481) ②喜多俊之氏によるモノづくり勉強会『次のモノづくりを支えるデザインの力』を開催した(参加者:22人) ③「デザインを経営資源として活かす」考えを養うための経営者サロンを開催し、参加企業の強み掘むための喜多氏による企業訪問を実施した。(参加企業:5社)
改善すべき点	新型コロナウイルス感染症の影響によりオンサイトで行う展示会が中止となる傾向にあり、発信方法、ツールの検討を行う必要がある。
令和3年度に向けた改善策	昨今の社会状況を鑑み、プロジェクトのディレクションを行うデザイナーのアドバイスを受けながら、積極的な情報発信など新たな手法を検討する。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	3
-----	---

事業名	モノづくり支援補助事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構が実施する下記5事業に対し補助金を交付し、同機構より対象企業に対し助成金を交付する。 ①高付加価値化促進事業 ②創業促進インキュベーション支援事業 ③クリエイション・コア常設展示場出展支援事業 ④産業財産権活用事業 ⑤展示会出展支援事業	B

R1 決算	18,381千円	R2 決算	15,228千円
----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	I ①	I ④	X ②	VII ①
	VII ③			

中小企業振興条例 第9条	
1	産業集積の活性化、ネットワーク強化
3	販路拡大
7	創造的な事業活動
8	グローバル化

指標①	補助金活用件数				R2達成度	指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度			R1	R2	R3	R2達成度
目標①	50件	50件	50件	B	目標②					
実績①	62件	47件	-		実績②					

事業実績 (令和2年度)	①高付加価値化促進事業・・・(研究開発)4件、(産学連携)1件、(経営力向上)7件 ②創業促進インキュベーション支援事業・・・(既入居企業)8社11室、(新規入居企業)6社6室 ③クリエイション・コア常設展示場出展支援事業・・・(既出展企業)7社、(新規出展企業)1社 ④産業財産権活用事業・・・3件 ⑤展示会出展支援事業・・・10件
改善すべき点	新型コロナウイルスの影響で展示会の中止が相次いだ影響で展示会出展支援事業の利用が半減した。
令和3年度に向けた改善策	展示会出展支援事業の対象にオンラインで開催される展示会を加えることとした。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	4
-----	---

事業名	次世代モノづくり啓発事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	小学校でのモノづくり体験教室の開催や少年少女発明クラブを支援することにより、次代を担う子どもたちのモノづくりに対する興味や関心を高め、将来の産業を担う人材を育成する。	A

R1 決算	教育支援事業 5,800千円 少年少女発明クラブ 568千円	R2 決算	教育支援事業 5,800千円 少年少女発明クラブ 568千円
----------	-----------------------------------	----------	-----------------------------------

提言・報告 施策	I②	VII②	X②	

中小企業振興条例 第9条	
5	人材の育成・事業承継

指標①	モノづくり体験教室参加児童数				指標②	発明クラブ活動への参加率			
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	5,100人	4,000人	4,000人	A	目標②	80%	80%	80%	A
実績①	4,076人	4,034人	-		実績②	66%	87%	-	

事業実績 (令和2年度)	<p>【教育支援事業】 体験教室のメニューは市内企業14社の協力により、全14メニュー。 135クラス4, 173人の応募があり、130クラス4, 034人に実施した。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 280人が参加し、15回開催した。 例年4月から活動しているが新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、開始時期を9月にずらして活動した。</p>
-----------------	--

改善すべき点	<p>【教育支援事業】 令和2年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み動画で実施したが、アンケート結果からはリアル型での実施を希望する声があった。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 後半になると参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持して参りたい。</p>
--------	--

令和3年度に向けた改善策	<p>【教育支援事業】 情勢を見ながらリアル型、オンライン型、動画型での開催を検討する。</p> <p>【少年少女発明クラブ】 年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通じて興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどに配慮する。</p>
--------------	--

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	5
-----	---

事業名	ビジネスセミナー開催経費	令和2年度 目標達成度
事業概要	市内中小企業者の人材育成を積極的に推進し、新分野進出や業務改善、後継者育成等をはかるため、(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構がビジネスセミナー(営業・経営・法律・IT等のテーマ)を開催することを補助する。	A

R1 決算	1,266千円	R2 決算	1,294千円
----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	I②	IV②	VII②	X①
	X②			

中小企業振興条例 第9条	
5	人材の育成・事業承継

指標①	ビジネスセミナー参加数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	600社	650社	650社	A	目標②				
実績①	771社	1,024社	-		実績②				
事業実績 (令和2年度)	26回(他機関との共催事業を含む)のセミナーを開催し、累計で1,024名の参加があった。								
改善すべき点	新型コロナウイルスの影響でオンサイトでの実施が難しくなりYouTube型のセミナーに取り組んだが、テーマによっては再生回数が伸び悩むものもあった。								
令和3年度に向けた改善策	オンサイト型、オンライン型それぞれに適したテーマの選定を心掛ける。								

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	6
-----	---

事業名	モノづくり開発研究会支援事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	市内企業の技術力高度化や研究開発促進を目的としてテーマが設定された2分科会により研究会を実施している。それぞれのテーマに基づき機器利用による講習会及び外部講師を招いた座学講習会などを市立産業技術支援センターにおいて実施する。	B

R1 決算	350千円	R2 決算	350千円
----------	-------	----------	-------

提言・報告 施策	I②	VII②	X②	

中小企業振興条例 第9条	
5	人材の育成・事業承継

指標①	参加者の満足度(大変満足・満足の割合)				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②				
実績①	100%	89%	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	2コース(「機械材料初級コース」「中堅人材育成(金属)コース」)にて講義および実験・実習をそれぞれ7回実施。 その他、特別講演・オープン講座を3回開催した。
改善すべき点	受講者のアンケートは概ね好評であったが一部、初級コースのわりに内容が難解であった、もう少し実習時間がほしかったとの声があった。
令和3年度に向けた改善策	アンケートの結果を元にコースの内容を検討する。

所属	都市魅力産業スポーツ部 労働雇用政策室
----	------------------------

No.	7
-----	---

事業名	モノづくり若年者等就業支援事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	若年者等に対し、モノづくり企業を中心とした就業の機会を提供する。合同企業説明会・面接会および就職セミナーの開催、就職情報誌の市内全戸配布、技能実習と企業での実習を組み合わせた「モノづくり人材育成塾」の開催等の事業を実施する。	D

R1 決算	10,000千円	R2 決算	10,000千円
----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	I②	VII③		

中小企業振興条例 第9条	
9	労働環境の整備

指標①	モノづくり人材育成塾により就職した人数				指標②	その他の就業支援により就職した人数			
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	15人	15人	15人	D	目標②	45人	45人	45人	D
実績①	5人	6人	-		実績②	23人	10人	-	

事業実績 (令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> モノづくり人材育成塾 技術コース…技専校での基礎的な技術の習得と企業での実習を併せて実施し、モノづくり企業への就職につないだ。 (期間)令和2年10月1日～11月13日 (場所)大阪府立東大阪高等職業技術専門学校、実習受入協力企業 (参加者数)12人 (就職者数)6人 モノづくりIT人材育成塾 …技専校でのITの基礎的な技術の習得を実施し、モノづくり企業への就職につないだ。 (期間)令和2年11月9日～12月11日 (場所)大阪府立東大阪高等職業技術専門学校 (参加者数)14人 (就職者数)6人 東大阪モノづくり企業合同就職面接会…モノづくり企業に限定した面接会を開催した。 (日時)令和3年3月4日 (場所)東大阪商工会議所4階大会議室 (参加企業数)28社 (参加者数)77人 (就職者数)4人 「東大阪スタイル」の発行…モノづくり企業で働く若者や働く人の基礎知識、各所相談窓口等を紹介する冊子を発行し、市内全戸配布するとともに、主要高校、大学、公共施設等に配布した。 (発行日)令和2年8月15日 (発行部数)202,000部 モノづくり企業採用担当者向けセミナー…コロナ禍における採用活動の変化や成長を目指す要因計画の基本などについて解説 (日時)令和3年2月5日 (場所)東大阪商工会議所4階大会議室 (参加者数)19人
-----------------	--

改善すべき点	参加者数及び参加企業は昨年度に比べて減少し、実際の就職者数は大幅に減少した。このため、引き続き参加者の増加に努めるとともに、企業と求職者のマッチングがスムーズに行えるよう、市内企業で働くことの魅力を広くPRする。
--------	--

令和3年度に向けた改善策	今後もより積極的なPRに努める。
--------------	------------------

所属	都市魅力産業スポーツ部 労働雇用政策室
----	------------------------

No.	8
-----	---

事業名	市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	市内企業の採用状況や雇用ニーズをきめ細かに把握し、新たな雇用ニーズの掘り起こしを図るとともに、学生や子育て世代の女性の就職ニーズとのマッチング事業を行う。	A

R1 決算	28,235千円	R2 決算	28,174千円
----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	I②	IX①	XII①	XII②

中小企業振興条例 第9条	
5	人材の育成・事業承継
9	労働環境の整備

指標①	市内企業に就職した学生や女性の人数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	125人	125人	125人	A	目標②				
実績①	202人	136人	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	<p>『就活ファクトリー東大阪』での実績 ※以下ファクトリーと記載 【新規登録者数】461人【就職者数】350人(うち市内企業への就職者数136人)【延べ利用者件数】2,145件 ・新規登録者増加の取り組みとして、自動扉前の掲示スペースのリニューアルを実施。自動扉ガラスにサービス内容をわかりやすく掲示。館内マップの作成。ハローワークにはない適性診断や面接特訓などのサービスを大きく打ち出したところ、通りすがりの利用者の登録や問い合わせが増加した。また、10月から新たに学生向け支援メニューを追加したところ、キャリアセンターからの紹介や家族からの口コミによる学生の登録が増加した。登録者に対する学生の割合が4%→11%と前年比7ポイント増加した。 ・セミナーについて、4～6月は中止、7月より再開。定員を半分の10名で実施しているため、人気の講座は定員の倍の申し込みがある状態で、すべてのセミナーが満席という状態だったが、1月の緊急事態宣言後は利用者が減少した。内容に関しては、就職意欲に結びつくテーマのセミナーを新たに17本企画した(学生向けも含む)。女性向けセミナーに関しては、子育て支援センターの部屋が使用できなかったため、子連れOK、一時保育のセミナーは実施できなかった。 ・カウンセリングについて、7月再開以降希望者が少ない状況が続いていたが、後半は学生の利用が増えてきた。 ・企業向けセミナーについて、体験型のWEB面接対策のセミナーを実施。ウイズコロナにおける採用手法のあり方を実感いただけた。また、親活セミナーに関しては、親子のコミュニケーションを重点に置いた内容にリニューアルしたところ、今までで一番反響が多かった。 ・ハッピーJOBサークル・JO部活について、新型コロナウイルス拡大防止のため、アクリル板やマイクを使用する座談会となり、今までと違うスタイルで行ったが、今までと変わらず満足度は高かった。 ・企業交流会については、新型コロナウイルスの影響で、すべて中止となった。</p>
-----------------	---

改善すべき点	<p>【課題①】新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント・セミナー及び館内サービス(パソコンコーナーなど)の利用を中止していた。 【課題②】メンターターゲットである学生などの利用が少ない。</p>
--------	---

令和3年度に向けた改善策	<p>・キャリアカウンセリングについて、今後新型コロナウイルスの影響で失業し、キャリアチェンジを余儀なくされる方や、就職が決まらないまま卒業を迎えてしまった学生が増えたと予想されるため、学生:若者:女性という区分の中で、より細分化した支援が必要になると考えている。それぞれの課題に対して対応できるよう、サービス内容の充実を図り、それが伝わるよう広報での魅せ方を工夫して行きたい。 ・学生の支援について、今年度立ち上げた支援メニューをベースに、来年度は大学キャリアセンターとの連携強化を行い、施設への誘導を図りたい。就職が決まらないまま卒業を迎えてしまった学生に対して、東大阪市内企業を案内できるような仕組みを構築したい。 ・セミナー利用者に対し、東大阪市内企業のおススメ求人(ハローワーク作成/毎週更新)を配布し、市内企業への興味を持ってもらう。 ・子連れOKセミナーに関しては、今後も子育て支援センターの利用が見込めないため、就活ファクトリー東大阪研修室にシートを設置し、定員を減らし実施する。 ・企業交流会については、オンラインで企業担当者と交流できるような仕組みを構築していきたい。</p>
--------------	--

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	9
-----	---

事業名	モノづくり立地促進補助事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	工業専用地域やモノづくり推進地域(工業地域と多くの準工業地域を指す)において、新たに製造業を営む場合や工場を建設する場合などに、土地・建物にかかる都市計画税および固定資産税相当額の一定割合の補助金を交付することで、製造業の立地と定着を図る。	A

R1 決算	98,840千円	R2 決算	73,623千円
----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	I③	VII③	X②	
-------------	----	------	----	--

中小企業振興条例 第9条	
1	産業集積の活性化、ネットワーク強化

指標①	補助事業活用による新規立地件数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	5件	5件	5件	A	目標②				
実績①	8件	5件	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	指定申請企業は5件であった。内訳としては、工場の新設が5件であった。
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の更なる周知が必要である。 令和元年度より補助対象期間が5年から3年に戻ったため、その影響を見極める必要がある。
令和3年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 関係部局との連携を密に行い、補助対象となりうる企業の情報取得に努める。

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	10
-----	----

事業名	住工共生のまちづくり事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	製造業集積の維持・継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保することで、活力あふれる経済活動と快適な生活環境が両立したまちを実現していく。	B

R1 決算	109,250千円	R2 決算	78,765千円
----------	-----------	----------	----------

提言・報告 施策	I③	VII③	X②	
-------------	----	------	----	--

中小企業振興条例 第9条	
2	操業環境の確保

指標①	補助金施策の活用実績率				R2達成度	指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度			R1	R2	R3	R2達成度
目標①	80%	80%	80%	B	目標②					
実績①	77%	79%	-		実績②					

事業実績 (令和2年度)	住工共生のまちづくり条例第11条に基づき特にモノづくり企業の集積を維持し、促進することが必要であると認める地区をさらに拡大するための検討を実施した。
-----------------	--

改善すべき点	住工共生にかかる補助金施策について、活用件数が少ないものがある。
--------	----------------------------------

令和3年度に向けた改善策	住工共生のまちづくりの取り組みに関するPRを積極的に行う。
--------------	-------------------------------

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	11
-----	----

事業名	技術交流プラザ事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	市内製造業者の情報発信・販路開拓を支援するため、製造業検索サイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。	A

R1 決算	9,002千円	R2 決算	8,997千円
----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	I④	VII①	X①	X②

中小企業振興条例 第9条	
3	販路拡大
10	魅力等の情報発信

指標①	市内企業への問合せ件数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	330件	330件	330件	A	目標②				
実績①	383件	512件	-		実績②				
事業実績 (令和2年度)	<p><プラザ登録の促進> ・(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構のコーディネーターが企業訪問時に技術交流プラザの案内を行い未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行う等、新規登録企業の促進を図ったところ22社から新規申し込みがあった。 <PR> ・第33回東大阪産業展テクノメッセ東大阪2020へ出展。 インターネット上に広告を出稿。</p>								
改善すべき点	企業情報ページを登録したのち、情報の更新をおこなわない企業が多い。								
令和3年度に向けた改善策	広告出稿のタイミングなどで企業に対し情報を更新するよう呼びかける。								

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	12
-----	----

事業名	東大阪ブランド推進事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	「東大阪ブランド」を本市モノづくり企業のフラッグシップと位置づけ、認定製品の発信を行い、『モノづくりのまち東大阪』の都市イメージ向上を図る。	C

R1 決算	2,552千円	R2 決算	3,926千円
----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	I ④	VII ③	X ②
-------------	-----	-------	-----

中小企業振興条例 第9条	
1	産業集積の活性化、ネットワーク強化
3	販路拡大
7	創造的な事業活動
10	魅力等の情報発信

指標①	ブランド新規認定製品数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	25製品	10製品	10製品	C	目標②				
実績①	2製品	7製品	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	令和2年度の東大阪ブランド新規認定数は7件。平年並みの認定件数であった。 市役所本庁舎1階の展示スペースの入れ替えを行い、新たに認定を受けた製品の広報周知を実施した。
-----------------	--

改善すべき点	東大阪ブランド事業は、優れた市内製品を東大阪ブランドとして認定することによって販路開拓を支援するものである。 本事業を通じて東大阪市の製造業のさらなる知名度向上を図ることを目的としている。しかし、東大阪ブランド認定制度自体の認知度がまだまだ十分ではなく、ブランド認定製品の申請自体が目標値と比べても低い。
--------	---

令和3年度に向けた改善策	東大阪ブランド推進機構を通じた広報活動の内容を見直し、より効果的なアプローチに努める。
--------------	---

所属	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
----	---------------------

No.	13
-----	----

事業名	モノづくりワンストップ推進事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	受注拡大サポートや、販路系・技術系コーディネーターによる積極的な企業訪問などにより、企業が抱える課題解決に向けた相談に応じる。	B

R1 決算	21,865千円	R2 決算	20,697千円
----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	I④	IV①	VII③	X②

中小企業振興条例 第9条	
3	販路拡大
4	経営資源の強化
7	創造的な事業活動
8	グローバル化

指標①		企業訪問件数				指標②		マッチング件数			
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度		
目標①	1,200件	400件	400件	C	目標②	120件	120件	130件	A		
実績①	870件	272件	-		実績②	164件	156件	-			

事業実績 (令和2年度)	販路コーディネータ5名(海外2名、国内3名(うちブランド担当1名))、技術コーディネータ3名で市内中小製造業に対して国・府・市の施策や、その他支援機関の情報を紹介し、技術相談や販路開拓支援、発注先を探している企業と市内製造業とのマッチング等、ワンストップで様々な課題・相談に対応した。(令和2年度総相談件数:3,161件)
改善すべき点	この間の取組で見えてきた人材不足や事業承継、技術的課題、販路開拓などのニーズに対し、市の施策はもちろん、関係支援機関などと連携するなど、必要に応じて適切なサービスを提供できるよう、日頃からコーディネーター間の情報共有など連携が求められる。
令和3年度に向けた改善策	各コーディネータがこれまでの職業人生で築いてきた人脈、経験を活かした販路開拓を実施。販路コーディネータ、技術コーディネータのそれぞれの役割を明確に意識しつつ、相互に連携を取り合いチーム(組織)として対応力の向上を図る。

所属	都市魅力産業スポーツ部 商業課
----	-----------------

No.	14
-----	----

事業名	商業振興コーディネート事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	意欲ある商業者を想定しながら、新たな商業振興のあり方を試行し地域商業の活性化を図る。	B

R1 決算	3,997千円	R2 決算	3,982千円
----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	Ⅱ①	Ⅱ②	V①	V②
	V③	VII①	XI①、②、③	

中小企業振興条例 第9条	
1	産業集積の活性化、ネットワーク強化
4	経営資源の強化
7	創造的な事業活動
10	魅力等の情報発信

指標①	事業効果があったとする対象店舗の割合				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	25%	25%	25%	B	目標②				
実績①	100%	21%	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	東大阪市内商店の出張ビジネスマンへ向けたPR 及び消費喚起として、市内ホテルの最寄り駅である大阪メトロ長田駅、近鉄奈良線永和駅、布施駅、小阪駅を中心とした小売・飲食・その他サービスの店舗を25店舗取材し、特設サイトにて紹介し、サイトへ誘導するためにSNS上で広告を出した。またマップや冊子を作成し、市内4か所のホテルや市外の主要駅に配架した。さらに新大阪で新幹線利用客を対象にPRイベントを行った。「モノ」だけのPRにとどまらず歴史や店主の魅力など付加価値を引き出す内容とした。
改善すべき点	コロナ禍において飲食店に営業時間の短縮要請が出るなど、出張ビジネスマンの来店機会が減少する中であったので、SNSでの広告やイベント活動を行ったが、実際に来店したお客は多くはなかった。対象となるビジネスマンなど、来店客の動向をつかむことが難しく、必要データの収集方法などの検討が必要である。
令和3年度に向けた改善策	市外からの消費をどう獲得していくかについて今後も検討が必要であり、商業のデジタル化など新たな販売機会の支援を行っていく。

所属	都市魅力産業スポーツ部 商業課
----	-----------------

No.	15
-----	----

事業名	地域密着型支援事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	商店街や小売市場等の小売商業団体が実施する魅力あふれる商店街づくりや、大学・地域などと連携して行う事業など、地域密着型の取り組みに対し補助金を交付することで、商業の活性化を図る。	D

R1 決算	11,583千円	R2 決算	0千円
----------	----------	----------	-----

提言・報告 施策	II①	VIII①	XI①	

中小企業振興条例 第9条	
1	産業集積の活性化、ネットワーク強化
7	創造的な事業活動
10	魅力等の情報発信

指標①	にぎわいづくり事業実施団体数				R2達成度	指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度			R1	R2	R3	R2達成度
目標①	21団体	21団体	21団体		D	目標②				
実績①	22団体	0団体	-			実績②				

事業実績 (令和2年度)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年4月7日に大阪府に緊急事態宣言が発令され、各イベントについても制限がかかったため、毎年実施している各商店街のイベントは中止された。
改善すべき点	事業目的は商店街ににぎわいを作ることであり、コロナ禍において平常時とは異なる方法でイベント等が実施できるように検討が必要。
令和3年度に向けた改善策	令和3年度においても、引き続き各団体でイベントを行い商業のにぎわいを創出していただけるように働きかけていく。その中で、オンラインでの開催等、密になることを避け、補助対象とできる範囲を検討していく。

所属	都市魅力産業スポーツ部 商業課
----	-----------------

No.	16
-----	----

事業名	個店経営者育成セミナー事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	<p>商業者や開業予定者を対象に、魅力ある個店づくりに必要なコンセプト作りや経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識を身につける講座を開講するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣する。</p>	A

R1 決算	640千円	R2 決算	630千円
----------	-------	----------	-------

提言・報告 施策	V②	V③	XI②	
-------------	----	----	-----	--

中小企業振興条例 第9条	
1	産業集積の活性化、ネットワーク強化
4	経営資源の強化
5	人材の育成・事業承継
7	創造的な事業活動

指標①	アドバイザー派遣により実効果があったと回答した割合				指標②	/			
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	80%	80%	80%	A	目標②	/	/	/	/
実績①	100%	100%	-		実績②	/	/	/	/

事業実績 (令和2年度)	<p>令和2年度は、開催時期を7月から9月に変更した。申込者数は、前年より6名増となり、各4回の平均出席率は前年同様84%となった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、積極的に創業や業態変更を考える受講者が多かった。受講者に対して行ったアンケート結果では、講義に対する満足度も高く、講師から受講者へのサポート等の結果であるといえる。</p>
改善すべき点	<p>参加受講生のモチベーションも高く、将来の開店を実際に考慮されている方も多かった。令和2年度においては、受講生の中から開店される方もいたが、今後については創業者を増やすことが課題である。</p>
令和3年度に向けた改善策	<p>特に新規開業予定者にアドバイザー派遣を受けていただくため、セミナーの中で新規創業者の課題をしっかりと掘り起こし、開業前に個々の必要な知識の獲得のためにアドバイザー派遣を受けていただくよう誘導する。</p>

所属	都市魅力産業スポーツ部 商業課
----	-----------------

No.	17
-----	----

事業名	空き店舗活用促進事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	商店街の空き店舗を活用して商業・サービス業の開業支援を図るため、開業の際の一部経費の補助やアドバイザーの派遣を行う。	D

R1 決算	650千円	R2 決算	0千円
----------	-------	----------	-----

提言・報告 施策	V③	XI①	XI②

中小企業振興条例 第9条	
1	産業集積の活性化、ネットワーク強化
2	操業環境の確保
4	経営資源の強化
7	創造的な事業活動

指標①	空き店舗活用促進事業実施団体数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	4件	4件	4件	D	目標②				
実績①	0件	0件	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	令和2年度においては、本事業にかかる問い合わせが相当数あったが、実際に事前申し込みがあったのは0件であった。
-----------------	--

改善すべき点	令和元年度から補助対象者のうち、既存の事業者については、金融機関からの融資を受ける要件を緩和し、融資要件の代わりに東大阪商工会議所による経営相談を受けることを要件としたが、相談はあるものの実申請に至らないケースが多かった。相談件数から見ると、一定の周知はできていると考えられるため、補助内容について検討する必要がある。
--------	---

令和3年度に向けた改善策	現在の補助要件を緩和し、さらに補助上限についても引き上げる。
--------------	--------------------------------

所属	都市魅力産業スポーツ部 農政課
----	-----------------

No.	18
-----	----

事業名	都市農業活性化農地活用事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また、大阪エコ農産物の栽培を促進する取り組みに対して支援を行う。	A

R1 決算	32,444千円	R2 決算	17,432千円
----------	----------	----------	----------

提言・報告 施策	Ⅲ①	Ⅲ③	Ⅵ①	

中小企業振興条例 第9条	
2	操業環境の確保
3	販路拡大
4	経営資源の強化

指標①	大阪エコ農産物栽培面積				R2達成度	指標②					
	R1	R2	R3	R2達成度			R1	R2	R3	R2達成度	
目標①	1,450a	1,450a	1,450a		A						
実績①	2,671a	2,366a	-								

事業実績 (令和2年度)	申請44件 補助金交付額17,432,000円
-----------------	----------------------------

改善すべき点	農家、耕作面積の減少が続いておりますので、今後も実績を維持できるようにしていきたい。
--------	--

令和3年度に向けた改善策	農業の振興及び農地保全に繋がる様、都市農業活性化農地活用事業の啓発に努めます。
--------------	---

所属	都市魅力産業スポーツ部 農政課
----	-----------------

No.	19
-----	----

事業名	ファーム花いっぱい咲かそう事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	休耕や耕作放棄となっている農地での花の栽培を促すとともに、エコ米生産者への堆肥活用による環境保全型栽培の取り組みを支援することにより、市内の農空間の環境と景観形成を進める。	A

R1 決算	2,325千円	R2 決算	1,880千円
----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	Ⅲ③	Ⅵ②		

中小企業振興条例 第9条	
2	操業環境の確保
10	魅力等の情報発信

指標①	花の栽培面積				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	50,000㎡	50,000㎡	50,000㎡	A	目標②				
実績①	68,761㎡	56,082㎡	-		実績②				

事業実績 (令和2年度)	花の種類:レンゲ、菜の花、コスモス 申請人数:31名
-----------------	-------------------------------

改善すべき点	平成25年度より、対象農地を休耕地やエコ米生産農地に限定せず、景観形成事業や、環境保全型農業に参加される農家・農地を対象とし、事業の推進を図る。
--------	--

令和3年度に向けた改善策	今後もJAと連携しながら農家および市民への周知を進め、事業のさらなる推進を図る。
--------------	--

所属	都市魅力産業スポーツ部 農政課
----	-----------------

No.	20
-----	----

事業名	農業啓発推進事業	令和2年度 目標達成度
事業概要	安全・安心な農産物を消費者に提供するために、大阪エコ農産物の生産を促進するとともに、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心を高めることで、地産地消の推進や農業の担い手の育成を支援する。	A

R1 決算	4,150千円	R2 決算	4,150千円
----------	---------	----------	---------

提言・報告 施策	Ⅲ①	Ⅲ②	Ⅲ④	Ⅲ⑤
	Ⅵ①	Ⅵ②	Ⅵ③	

中小企業振興条例 第9条	
2	操業環境の確保

指標①	事業参加者数				指標②				
	R1	R2	R3	R2達成度		R1	R2	R3	R2達成度
目標①	1,000人	1,000人	1,000人	A	目標②				
実績①	1,000人	1,175人	-		実績②				
事業実績 (令和2年度)	農業体験「いも」 約85名 農業体験「ザこめ」 約70名 青年農業者先進地視察研修 約20名 営農研究会 学校園体験事業 約1000名 ※中止となった事業は記載省略しています。								
改善すべき点	ファームマイレージ運動の推進により、実績が上がっていますので、今後も実績が上がるように継続していきます。								
令和3年度に向けた改善策	より一層、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心と理解を広め・高めることで、農地を守り農業を支えることに繋げていきたい。啓発事業に多くの市民が参加できるようにしていきたい。								